

令和4年産 大麦栽培暦

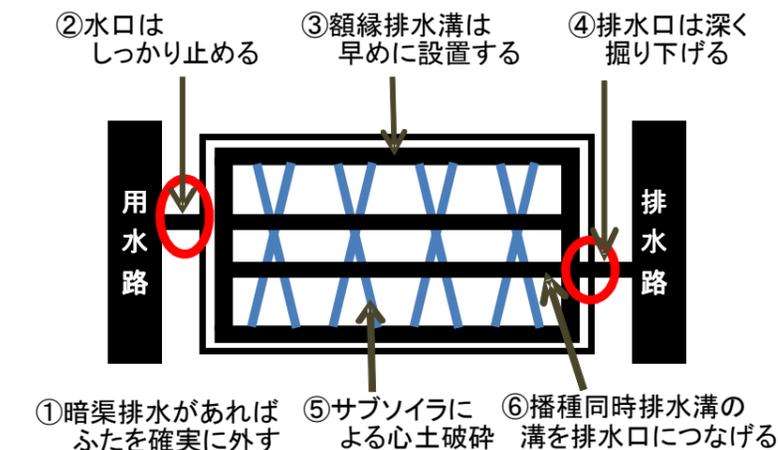
氷見市農業技術者協議会

日	9			10			冬期間	4			5			6												
	上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下	上	中	下										
生育段階	発芽						分けつ期			幼穂形成期			節間伸長期			出穂期・開花期			成熟期							
主な作業	排水対策の徹底						茎数の確保			越冬前の生育確保			穂数確保			登熟向上			草刈り後の雑草対策							
	<p>排水対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブソイラによる心土破碎 ・稲刈り後、額縁排水溝設置 <p>排水対策の徹底</p>						<p>発芽・苗立確保のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲刈り直後の排水対策を徹底し碎土率を高める ・播種時期とほ場に応じて播種量を増やす ・播種作業は10月上旬、遅くとも10月中旬までに終わるように計画する 			<p>赤かび病防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目(穂揃期) ・2回目(1回目から7日後) 			<p>排水溝の手直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(融雪水の排水) ・(降雪前に随時実施) 			<p>カラスノエンドウの採取</p>			<p>乾燥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仕上げ水分は12%とする) ・(乾燥速度は毎時乾減率1%以内とする) 			<p>調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(レーダーの篩目は2・3mmを用いる) 			<p>麦跡にハトムギを</p>	

収量と品質目標

単収	350kg/10a
品質ランクA格付	100%
容積重	690g/l以上
細麦率	2.2mm(篩)下に2.0%以下
白度	43以上
硝子率	40%以下

排水対策の徹底



カラスエンドウ対策

- ・雑草発生量を下げるため、大麦の連作は2年までとする
- ・除草効果を高めるため、早急に額縁を設置し碎土率を高める
- ・薬害を避けるため、播種深は約3cmとし種子を露出させない
- ・雑草の抜取りは赤かび病防除以降、定期的に行う

土壌改良資材施用 pH6.0~6.5を目標に

前作	資材名	耕起前(kg/10a)
WCS以外	苦土石灰	100
WCS	珪酸石灰	120
	牛糞堆肥	1,500

種子の準備 播種時期に応じた種子の確保

播種時期	目標苗立数(本/m ²)	播種量の目安(kg/10a)
9月25~30日	140	6
10月上旬	150	6.5
10月中旬	200	8.5

- ・排水の悪いほ場や播種が遅れた場合は、0.5~1kg/10a播種量を増やしましょう

種子消毒

- ・ベンレートT水和剤20の乾燥種子重量の0.5%粉衣(種子10kgに水200mlを加え湿らせ、薬剤50gを入れ混和)

播種作業 乾いたほ場から順次開始

- ・耕起・施肥・播種・作溝の1連作業を1日で完了する
- ・最初の耕起は降雨直後を避け、碎土率を高める
- ・溝は必ず深く掘り下げた排水口に連結する
- ・遅くとも10月中旬までに播き終える

肥効調節型肥料の施肥量

	粘質土	壤質土	砂壤土
Jコート大麦48号(kg/10a)	40	40	45

※原則として追肥は行わない

除草剤の散布

※種が露出している場合は薬害が出やすいので注意

薬剤名	使用時期	使用量(/10a)
キックボクサー細粒剤F	播種後出芽前	3~4kg

赤かび病防除 赤かび粒の混入限度は0.0%

- ・穂揃期(開花始め)とその7日後との2回防除を徹底
- ・降雨が続いていても、晴れ間を見て確実に防除しましょう

	ブームスプレーヤー	ドローン
1回目の薬剤 穂揃期(開花始め)	トップジンM水和剤 1000倍(150L/10a)	トップジンMゾル 8倍(0.8L/10a)
2回目の薬剤 1回目の1週間後	シルバキュアフロアブル 2000倍(150L/10a)	シルバキュアフロアブル 16倍(0.8L/10a)

○刈取期の目安

